

## クレディセゾン、全社員に約100万円の決算賞与を支給

## — 全社員で株価を意識する経営により実現 —

株式会社クレディセゾン（代表取締役(兼)社長執行役員 COO：水野 克己、以下：当社）は、全社員に対し、総額 978,000 円の決算賞与を支給することを決定しました。これは、本日発表の決算において、期初の経常利益公表値を超過したことによるものであり、2025年7月4日（金）に支給予定です。この決算賞与は、ファントム・ストックや持株会など社員が株価を意識して業務に取り組むことで企業価値向上を図る取り組みの一環として実現されました。

## 決算賞与の仕組み



※仮想株式による付与。前中計の当初最終年度である2025年3月末時点の株価で乗じた金額で現金支給額を算出し支給

## ■背景と目的

当社は、単なる賃上げではなく、株価を意識した経営を推進しています。2017年から全社員を無期雇用の正社員とし、同一労働同一賃金の実現や、全社員統一の人事制度を導入するなど、社員の挑戦、成長を後押しする仕組みや取り組みを行ってきました。2022年11月25日に発表したプレスリリースでは、全社員を対象にした決算賞与制度の導入を発表しました。この制度は、期初計画を超過した単体経常利益の一定割合の2/3を現金、1/3をファントム・ストックで支給する仕組みを採用し、社員の企業価値（株価）や経営参画に対する意識を高めています。また、決算賞与の導入に加え、社員全員が業績や株価を意識する風土を醸成するため、持株会制度への加入も推進しています。持株会は1,000円からの少額購入が可能で、奨励金10%も付与され、持株会の加入率は53.8%に達しています（2025年3月現在）。これらの業績連動型報酬制度の導入により、業績目標の達成意欲や働くモチベーションの向上につなげています。合わせて、社長の水野により決算賞与額発表のイベント実施や、社内報での情報発信を通して、理解浸透を図ってまいりました。社員の中長期的な資産形成を支援し、時価総額1兆円規模を目指す当社の成長を支える制度となっております。

## ■業績連動型決算賞与

全社員に同額の支給をすることにより、年収が低い社員ほど理論年収に対しての上昇率が高くなります。



## ■決算賞与の内訳

今回の決算賞与は、**総額 978,000 円**を全社員一律で現金支給。

- 2024 年度支給分: 484,000 円  
※2025 年 3 月末に在籍、かつ、支給時(2025 年 7 月 4 日)在籍者が対象
- 2022 年度（支給分）の現金支給分: 360,000 円  
※2023 年 3 月末株価の 2 倍を上限価格に設定  
※2023 年 3 月末に在籍、かつ、支給時(2025 年 7 月 4 日)在籍者が対象
- 2023 年度（支給分）の現金支給分: 134,000 円  
※2024 年 3 月末に在籍、かつ、支給時(2025 年 7 月 4 日)在籍者が対象

当社は、今後も「GLOBAL NEO FINANCE COMPANY～金融をコアとしたグローバルな総合生活サービスグループ～」を目指し、社員一丸となって、時価総額 1 兆円規模を目指し、成長戦略を推進します。全社員の企業価値や株価、経営参画に対する意識をより一層向上させ、持続的な企業成長を実現し続けます。